



報道関係 各位

2026年5月1日

香川大学との包括連携協定に基づく

人工魚礁プロジェクト第1弾！**海を豊かにする“人工魚礁”の最先端研究を紹介****小型模型も展示**

四国水族館（館長：松沢 慶将 所在地：香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁4）は、2026年5月2日（土）より、瀬戸内海を豊かにする最先端の人工魚礁の研究を紹介する展示を開始します。

今回の取り組みは、香川大学との包括連携協定に基づくプロジェクトとして実施するもので、香川大学創造工学部末永研究室と連携し、人工魚礁の小型模型の展示等を行います。

**人工魚礁の小型模型**

今後、実際に海中に設置した人工魚礁に付着した藻類の展示や、地元海域への人工魚礁設置なども検討してまいります。

瀬戸内海でも、藻場の減少や漁獲量の減少が問題となっています。末永研究室が進めている人工魚礁の研究は、海藻の生育を促し、海の生きものたちのすみかを創出する効果が認められており、地域の「里海再生」と「ブルーカーボン」に大きく寄与する取り組みとして注目されています。

瀬戸内海の未来を考えるうえで欠かせない“海を耕す最先端技術”を、ぜひご覧ください。

【人工魚礁展示プロジェクト第1弾 小型模型展示について】

展示開始日：2026年5月2日（土）～

場 所：本館棟1階 瀬戸内ゾーン

展 示 物：・人工魚礁の小型模型（幅20cm、高さ10cmを3基）

・研究の目的や仕組みを紹介した解説パネル2枚

<本件に関するお問い合わせ>

四国水族館 担当：片山、井上

TEL：0877-49-4590/4598 FAX：0877-49-4600 Email：koho@shikoku-aquarium.jp